

令和3年度
教育課程特例校における特別な教育課程
【実施状況報告】

箕面市立第六中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間（週4時間）の外国語科（英語）に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境作りを行うことができています。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境作りを行っています。

2.学校関係者からの意見

・小学校の時からALTを活用した授業で、ネイティブの英語に触れて活動することで、英語に対して親しみをもって臨めている。・学年があがるにつれて英語で表現できることも増えて、英語の興味や関心が高まっているようである。英語コミュニケーションの授業を通して子どもたちが英語を楽しみながら授業を受けている。・先生方も音楽や映像を使って、子どもたちが英語を楽しめるような工夫をしている。・ALTが自分の生まれ育った国の歴史や文化を子どもたちへ話してくれることで子どもたちが外国についての興味をもてるようになっている。

3.今後に向けて

・中学校から学ぶ内容が小学校の時と比べて、急激に難しくなるので、英語でコミュニケーションをとることの楽しさや自分の発言した言葉がALTに通じた経験や喜び、体験を今まで以上に増やしていく必要がある。

・校外学習など学校以外の場で外国人と話してみるなどの経験、体験をすることで、英語で伝え合うことの楽しさや自信と喜びを実感させていきたい。